

プレゼンテーションとは

大学の授業や正課外の活動では、「プレゼンテーション」をする機会があります。

プレゼンテーションとは、**複数の聴き手に対して、学習の成果や文献の内容、自分の意見などを口頭で発表すること**をいいます。より効果的なプレゼンテーションにするために、レジュメなどの印刷資料やプレゼンテーション用ソフトを活用しながら発表することもあります。

1 なぜ大学でプレゼンテーションを学ぶのか

大学という場は、先生や他の学生たちとともに知識を共有し、お互いに新たな発見をする場でもあります。自分の意見を正確に表現し伝達すること、そして、他者の発表から相手の考えを読み取り、自分の考えと照らし合わせて意見を述べ議論することは、**授業の中だけではなく、サークルや友達同士での話し合いの場でも必要なスキル**です。

また、就職活動でも、社会人になってからも、プレゼンテーションをする機会はたくさんあります。

大学生のうちにプレゼンテーションのスキルをしっかりと身につけておくと、**社会人になった時にも役に立ちます**。

2 話すのが苦手でも大丈夫？

よく、「私は人前で上手に話せないから、プレゼンテーションが苦手なんです」という人がいます。しかし、プレゼンテーションで大事なことは、人前で上手にスラスラと話すことではありません。重要なのは、自分の伝えたいことを聴き手に確実に伝えることです。どうすれば聴き手に分かりやすく伝えられるかを**考え、工夫し、リハーサルを行い、見直しと改善**をすることが、効果的なプレゼンテーションを生み出します。

また、**相手に一生懸命に伝えようという熱意**も大切です。人前で話すことが苦手でも、しっかりと準備され、心のこもったプレゼンテーションは、聴き手に必ず伝わります。

この Master of Presentation の内容に沿って準備を進め、「伝わるプレゼンテーション」を目指しましょう。

